

会 報

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会
URL <http://ajgika.ne.jp/~kagoshima/>

あ い さ つ

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会
会 長 東 園 和 臣

第62回鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究大会を迎えて

大島地区

周知の通り、本研究会は戦後の「職業科」から「職業・家庭科」への移行がなされ、これまでになかった指導内容が加わり、今までの知識では教科指導ができず、学校現場は混乱を来しており、このような現状を打開するためには、教科を担当するものがお互いに研修をしていく以外に方法はなく、研究組織を作り、手と手を取り合っただけで教材研究をしていくことが必要とのことで、現在の「鹿児島県中学校技術・家庭科研究会」の前身「鹿児島県中学校職業・家庭科教育協会」が当時、吉野中学校の大山高氏を会長に発足した組織であります。このように私たちの教科は、時代の要請に応じて教育課程が変わるたびに、絶えず研修をしていかなくてはならないのが特徴でもあります。私たち技術・家庭科を担当する教師としての力量を絶えず高めていくために、この研究会が益々発展していくことを願うものであります。

昨年は、第61回鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究大会を南九州市立知覧中学校にて、開催させていただきました。知覧中学校の石塚校長先生をはじめ、南薩地区の技術・家庭科担当の先生方、指導の助言の県教育庁学校教育課の新福敦子指導主事、県教育総合センターの長元武彦研究主事、そして本研究会の本部役員・会員の協力のもと素晴らしい研究会になったことに感謝申し上げます。

本年度は、第62回鹿児島県中学校技術・家庭科研究大会、奄美群島区日本復帰60周年記念大島地区大会という、記念すべき大会を奄美市立朝日中学校で開催することになっておりますので、関係各位の協力をよろしくお願いいたします。

今後も、実践的・体験的な学習活動を通して、家族と家庭の役割、生活に必要な衣、食、住、情報、産業等についての基礎的な理解と技能を養うとともに、それらを活用して課題を解決するために工夫し創造できる能力と実践的な態度を育成しなければなりません。ものづくりは、生活をよりよくするために役立つものを作るとともに、自らの創造や工夫を形にして、基礎的な知識や技術を身につけるとともに、「生きる力」の育成になると考えます。そのことが、私たち技術・家庭科の教師がよく口にする「ものづくり」は、「人づくり」、「地域づくり」そして「国づくり」につながると考えます。

本研究会の取組は、これからの時代を切り拓くたくましい生徒の育成に大きく寄与している価値ある実践的教育研究であると信じています。

県下、技術・家庭科担当の皆様方のご理解・ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

1 はじめに

平成25年度鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究大会を大島地区が担当することになりました。今大会は、奄美群島が日本に復帰して60周年目の記念の大会で、本地区の大会としても40回目となります。小規模・中規模の学校が多く、免許を持った先生方が非常に少ない現状にありますが、何とかここまで継続することができました。この県大会を機に地区の活動を盛り上げていきたいと考えています。

大会運営につきましては不十分な点多いかと思いますが、本地区の技術・家庭科教育の発展にお力添えをいただければ幸いです。多数の参加をお待ちいたしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2 研究大会内容について

①日時 平成25年11月8日(金)9:20~16:20

②会場 奄美市立朝日中学校

③研究授業

<技術分野> 授業者 加 俊郎

授業内容:「A 材料と加工に関する技術」

<家庭分野> 授業者 江藤 隆史

授業内容:「C 衣生活・住生活と自立」

④研究発表

発表者:出水市立出水中学校

教諭 鷺見 壮一

内 容:「自立型ロボットの実習を通して工夫し創造する制御学習の工夫」

発表者:始良市立帖佐中学校

教諭 恵 亜矢

内 容:「家族とのつながりを深める技術・家庭科教育の在り方」

発表者:鹿児島市立吉田南中学校

教諭 竹下 誠

内 容:「よりよく生きる生徒を育てる技術・家庭科教育」

研究会だより

総務部

〈技術分野〉

①日時 平成25年8月5日(月) 9:00~16:00

②会場 鹿児島市立吉田南中学校

③参加人数 10人

④内容

- (1) ロボコン県大会で開催される『制御部門』に関する実技講習
- (2) コート製作についての実技講習
- (3) 技術分野におけるICT活用



⑤参加者の感想

【紫原中 永吉先生】 ロボコンに興味はありましたが、ルールなどが分からず、取り扱っていませんでしたが、今回参加して制御部門の説明があり、これなら授業等でも取り扱ってみようかなと思いました。またICTを活用したデータ等も見せていただき大変勉強になりました。

【黒神中 西園先生】 本年度から始まるロボコンの制御部門についての説明、競技コート作成を行った。プログラムと制御が授業の中でも取り入れられているので、とても取り組みやすい部門であると思った。簡単なプログラムでの操作であるが、実際に動かしてみるととても奥が深く、興味深かった。

【竹島中 川路先生】 午前の部であるロボコンの実技講習では、実際に制御を体験したが、生徒に教える場合、どんなところに注意すればよいか理解できた。午後の部は生徒にエクセルを使用させるICT活用を体験させてもらった。新しいICT活用方法を今後の学校の授業で生かしていきたい。

〈家庭分野〉

①日時 平成25年8月5日(月)

②会場 午前：千草寮母子生活支援施設
午後：鹿児島市立伊敷中学校

③参加人数 24人

④内容

(1) 母子生活支援施設見学

昼食：「おいしん坊」にて会食と情報交換

(2) A「家族・家庭と子どもの成長」に関する実践例紹介

鹿児島市立吉田南中学校

柿元 慶子

鹿児島市立武岡中学校

南 香乃子

西之表市立種子島中学校

五領 弘子

(3) 九州大会研究発表内容検討

⑤参加者の感想

・個人では参観できない施設で、大変参考になった。子どものために家族や周囲のサポートをする施設や環境があることの大切さを感じた。

・保育でつまずきが、解決されそうな感じがした。

・実践紹介は「こんな楽しい授業がしたい!!」という気持ちになるものばかりだった。導入の工夫や視聴覚教材の活用法などを多く吸収でき、とても満足できた。

・他校の先生方の取組や夏季休業中の課題の出し方など勉強になった。免許外で参加されている先生方も多く、難しさを共有することができた。



昨年度は、第61回県研究大会(南薩地区大会)並びに県作品展が、11月9日に南九州市立知覧中学校を会場として行われ、県内の会員の方々、約80名に参加していただきました。南薩地区の先生方には何度も会をもつていただき、内容の濃い研究授業・研究発表・研究協議が展開されたことに、深く感謝申し上げます。

また、第12回ロボコン県大会(城西中)、第6回アイデアバック県大会、第6回ものづくり競技大会(かごしま文化工芸村)に多くの参加をいただき、盛会のうちに終了することができました。

本年度は、第62回県研究大会(大島地区大会)が、11月8日に奄美市立朝日中学校で開催されます。昨年同様、県内の先生方のご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

お知らせ

- 1 **県版学習ノート**の採用につきましてはご協力をいただきありがとうございました。
- 2 **研究誌「技術・家庭」**を毎年発行し、本年が第61号になります。この研究誌は、本県技術・家庭科の先生方の研究を掲載しております。先生方の**研究(研究論文)あるいはグループ研究等**ございましたら是非掲載にご協力ください。
- 3 **第27回 鹿児島県中学校技術・家庭科作品展**を11月8日(金) 奄美市立朝日中学校にて開催します。授業や長期休業中の生徒・教師作品を多数出品されますようよろしくお願いいたします。
- 4 **第7回県中学生ものづくり競技大会**が10月12日(土)かごしま文化工芸村で、また、**第7回被服部門アイデアバックコンクール県大会**を10月26日(土)武中学校で開催します。1月に開催される全国中学生創造ものづくり教育フェアの予選大会ですので、多数の参加をお願いします。
- 5 **第13回創造アイデアロボットコンテスト鹿児島県中学生大会**が10月26日(土)武中学校(体育館)にて実施されます。本大会を盛り上げるためにも多数の参加をお願いします。
- 6 **技能検定**を実施しています。詳しくはWebページをご覧ください。

＜問い合わせ・連絡先＞ ◆.....

◆ 〒890-0051 鹿児島市高麗町36番32号

鹿児島市立甲南中学校 古定 周

TEL 099-254-9155

FAX 099-254-9156

Eメール furusada@hotmail.com